

2021年4月~2021年6月に、
いたみセンターの慢性痛初診外来を受診された方へ
「当院いたみセンターに紹介された慢性痛患者像の把握と
多職種介入内容の検討」の情報公開文書

1 研究について

痛みが3ヵ月以上にわたって続く状態は、「慢性痛」と呼ばれています。近年の医学研究によって、慢性疼痛には、ケガや神経などの影響、不安感、社会的ストレスなど、様々な要因が複雑に関係していることが分かってきました。そのため、さまざまな職種のチームによって、痛み治療を行うことが有効とされています。そのように、慢性痛の多職種診療を提供する「集学的痛みセンター」は、現在、全国に36カ所設置されています。

名古屋市立大学病院(以下、当院)いたみセンターもその一つとして、地域の医療機関と連携しながら、慢性痛の紹介患者さんを受け入れています。初診時には、ペインクリニシャン、精神科医、理学療法士、公認心理師、看護師などがチームを組み、診療にあたります。しかし、初診時には、一人の慢性痛患者さんにつき、半日かけて診察するため、待期間が非常に長くなっている現状にあります。そこで本調査では、当院いたみセンターに紹介された患者像と、実際に提供した多職種介入を整理し、各患者像にあった介入が提供できているか評価することを目的とします。

この研究を実施することについては、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会(所在地:名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1)において医学、歯学、薬学その他の医療又は研究に関する専門家や専門以外の方々により倫理性や科学性が十分であるかどうかの審査を受け、承認されたうえで、研究を実施する研究機関の長から研究を実施することについての許可を受けています。また委員会では、この研究が適正に実施されているか継続して審査を行います。

なお、本委員会にかかわる規程等は、以下のホームページよりご確認いただくことができます。

名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター ホームページ “患者の皆様へ”

<http://ncu-cr.jp/patient>

2 この研究で用いるあなたの試料・情報の利用目的及び利用方法について

当院いたみセンターに紹介された患者像と、実際に提供した多職種介入を整理し、各患者像にあった介入が提供できているか評価することを目的とします。保管した情報を、将来、紹介元の傾向や治療成績等に関する研究に使用する可能性があります。その場合は、改めてその研究の研究計画書について倫理審査委員会に意見を聴き、研究機関の長の許可を得たうえで研究を行います。また、その研究に関する詳細について、情報を公開します。

3 この研究で用いるあなたの試料・情報の内容について

この研究では、2021年4月1日から2021年6月30日までに名古屋市立大学病院いたみセンターの慢性痛初診外来に紹介受診された際の医療情報を用います。用いる医療情報は、下記のとおりです。

- ・年齢、性別、紹介元:院内外、県内外、診療科
- ・慢性痛診断
- ・器質的要因レベル(0~4)、精神的要因レベル(0~4)、対応すべき医療機関の分類
- ・再診時に行われた、麻酔科医、精神科医、理学療法士、公認心理師、看護師による各介入の有無

4 あなたの試料・情報を利用させていただく研究者等について

この研究では、本研究施設においては、以下の研究者があなたの試料・情報を利用させていただきます。

研究責任者：麻酔科学・集中治療医学 酒井美枝

研究分担者：麻酔科学・集中治療医学 杉浦健之

5 本研究施設における研究責任者等の氏名

この研究は、研究責任者/個人情報管理者が責任をもって試料・情報を管理します。

研究機関名：名古屋市立大学病院いたみセンター

研究責任者：酒井美枝 個人情報管理者：酒井美枝

6 あなたのプライバシーに関わる内容は保護されます。(個人情報等の取り扱い)

あなたの試料・情報は、それらから個人を特定する情報が削られ、代わりに新しく符号がつけられます(匿名化)。あなたとこの符号とを結びつける対応表は、あなたの試料・情報を頂いた病院や研究機関で厳重に管理され、あなたのプライバシーに関わる情報(住所・氏名・電話番号など)は保護されます。報告書などやこの研究を通じて得られたあなたに係わる記録が学術雑誌や学会で発表される場合も、得られたデータがあなたのデータであると特定されることはありません。

7 あなたの試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を希望しない場合

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究に、あなたの試料・情報の利用されることや他の研究機関への提供されることを希望されない場合は、お電話により、ご連絡ください。

研究の進捗状況によっては、個人情報の特定ができない状態に加工されており、あなたのデータを取り除くことができない場合があります。

【本研究施設における問い合わせ先】

研究実施機関：名古屋市立大学病院いたみセンター

連絡先：052-851-5511 (対応可能時間帯) 8時30分から17時まで(平日)

対応者：臨床心理士・公認心理師 酒井美枝

8 研究に関する情報公開

この研究の成果は、学術雑誌や学術集会を通して公表する予定ですが、その際も参加された方々の個人情報などが分からない状態で発表します。

9 研究により得られた研究成果等の取り扱い

この研究で得られるデータ又は発見に関しては、研究者もしくは研究者の所属する研究機関が権利保有者となります。この研究で得られるデータを対象とした解析結果に基づき、特許権等が生まれる可能性があります。ある特定の個人のデータから得られる結果に基づいて行われることはありません。したがって、このような場合でも、あなたが経済的利益を得ることはなく、あらゆる権利は、研究者もしくは研究者の所属する研究機関にあることをご了承ください。

10 この研究の資金源及び利益相反(COI(シーオーアイ):Conflict of Interest)について

研究一般における、利益相反(COI)とは「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、企業等が研究に対してその資金を提供している場合や、研究に携わる研究者等との間で行われる株券を含んだ金銭の授受があるような場合です。このような経済的活動が、研究の結果を特定の企業や個人にとって有利な方向に歪曲させる可能性を判断する必要があり、そのために研究の資金源や、各研究者の利害関係を申告することが定められています。

この研究は、厚生労働省「慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業の補助金(研究分担者:杉浦健之)により実施するものです。また、研究に使用する医薬品等製造販売業者からの資金提供等はありません。なお、名古屋市立大学においては、この研究について、企業等の関与と、研究責任者および研究分担者等の利益相反申告が必要とされる者の利益相反(COI)について、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会の手続きを終了しています。